

デザイン学科
視覚デザインコース

Visual Design

VD

2021年度 デザイン学科 視覚デザインコース 2年次

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
視覚デザイン1	4					
	○△視覚コミュニケーション1	溝川誠司	前後	水1	142	
	○△情報デザインの編集と表現	富田由利子	前	水2	142	
	○△キャリアデザイン1	小坂恭子	後	水2	142	
視覚デザイン2	4					
	○視覚デザインベーシック1	小林チエ	前後制	水3/4	142	
視覚デザイン演習1-1	6					
	*前期(1-1):グラフィック(6週)、エディトリアル1(6週)、WEBメディアデザイン(12週)は必修 +他授業分野から1つ以上を選択必修					
(必修)	○△グラフィックデザイン1	鈴木竜	前	火3/4	142	
	○△エディトリアルデザイン1	緒方裕子	前	月3/4	142	
	○△WEBメディアデザイン1	山内滋晴	前	水5/6	422	
(選択必修)	○△イラストレーション1	小沢信一	前	火1/2	142	
	○△タイポグラフィ1	小林チエ	前	火5/6	411	
	○△写真1	土肥裕司	前	月1/2	431	
	前期講評	担当教員全員	前	調整週/1日間	422	
視覚デザイン演習1-2	6					
	*後期(1-2):「WEBメディアデザイン」「WEBコーディング」は必修 + 2授業分野以上を選択必修					
(必修)	○WEBメディアデザイン2	山内滋晴	後	水5/6	411	
	○WEBコーディング	小高恭子	後	木1/2	411	
(選択必修)	○グラフィックデザイン2	鈴木竜	後	火3/4	142	
	○エディトリアルデザイン2	緒方裕子	後	月3/4	141	
	○イラストレーション2	小沢信一	後	火1/2	142	
	○タイポグラフィ2	小林チエ	後	火5/6	411	
	○写真2	土肥裕司	後	月1/2	431	
	○フェスタ展示	小林/助手	後	準備週/2日間	123	
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週/2日間	422	
修了制作	6					
(必修)	○総合プロジェクト指導	溝川誠司	制	水1	142	
	○〃	鈴木竜	制	火3/4	142	
	○〃	緒方裕子	制	月3/4	142	
	○〃	山内/小高	制	水5/6	411	
	○〃	小沢信一	制	火1/2	142	
	○〃	土肥裕司	制	月1/2	431	
	○制作指導	VD教員	上記授業時間外			
	○修了制作審査/講評	担当教員全員	制	制作週後/2日間	422	

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2020年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業

△=高等教育無償化申請

2021年度 デザイン学科 視覚デザインコース 3年次

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
視覚デザイン3						4
	○視覚コミュニケーション 2	溝川誠司	前後制	水2	141	
	○キャリアデザイン 2	小坂恭子	前後制	水1	141	
視覚デザイン4						4
	○視覚デザインベーシック 2	鈴木真悟	前後制	火3/4	141	
視覚デザイン演習 2-1	* 前期(2-1): WEBメディアデザイン3、Webコーディングは必修 +他授業分野から2つまでを選択必修					6
(必修)	○WEBメディアデザイン 3	山内滋晴	前	火5/6	141	
	○WEBコーディング	小高恭子	前	木1/2	141	
(選択必修)	○グラフィックデザイン 3	鈴木竜	前	火1/2	141	
	○エディトリアルデザイン 3	緒方裕子	前	月1/2	141	
	○イラストレーション 3	小沢信一	前	水3/4	141	
	○写真3	土肥裕司	前	月3/4	431	
(任意選択)	○デジタルパブリッシング 3	大西哲彦	前	金3/4	411	
	○前期講評	担当教員全員	前	調整週/2日間	422	
視覚デザイン演習 2-2	* 後期(2-2): 1授業分野以上を選択必修					6
(選択必修)	○グラフィックデザイン 4	鈴木竜	後制	火1/2	141	
	○エディトリアルデザイン 4	緒方裕子	後制	月1/2	141	
	○イラストレーション 4	小沢信一	後制	水3/4	141	
	○写真4	土肥裕司	後制	月3/4	431	
(任意選択)	○WEBメディアデザイン 4	山内/小高	後制	火5/6	412	
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週/2日間	422	
卒業制作						6
	制作指導	3VD教員		上記授業時間外		
	卒業制作審査/講評	担当教員全員		制作週外/2日間		
	○卒業制作展 展示	鈴木/助手		制作週後/1週間		

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2019年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業

△=高等教育無償化申請

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン1	授業分野	視覚コミュニケーション1
担当教員	溝川誠司		
専門 実務経験等	専門:クリエイティブディレクター 2008年～現在 独立後、株式会社ソリッドプラス 代表取締役就任 企業等のマーケティングおよびプロモーション企画立案、会社案内、学校案内、パンフレット、ポスター等のデザイン制作・アートディレクションに従事 ・OAC 公益社団法人 日本広告制作協会 正会員/理事 ・JSSD 日本デザイン学会 正会員 ・長岡造形大学 非常勤講師、デザイン専門学校において教育課程編成委員及び教育課程評価委員を数校受託		
授業内容 および 到達目標	前期は、コミュニケーションデザインの変遷と各メディアの現状を、後期は、総合プロジェクトを想定してオリエンテーションからプレゼンテーションまでの表現アイデアを視覚化するプロセスを学ぶ。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 デザインオリエンテーション(デザイン=産業) 2週 情報デザインの位置づけ 3週 情報産業の今日(広報と報道) 4週 コミュニケーションの変遷① 5週 " ② 6週 " ③ 7週 コミュニケーションとメディアマス・4大メディアとコミュニケーション 8週 " 印刷系メディア-新聞 9週 " 雑誌 10週 " SP(POP)関連 11週 " 電波系メディア-TV、ラジオ 12週 " WEB関連		
〈後期〉	1週 広告デザイン企画制作のプロセス 2週 オリエンテーションの重要性とその内容 3週 クリエイティブ条件の設定(骨組み) 4週 クリエイティブ戦略 5週 表現コンセプトと製品コンセプト 6週 表現コンセプトの作成(発想/創造法) 7週 表現アイデアの視覚化①(ビジュアライゼーション) 8週 " ②(サムネールからカンパ) 9週 " ③(コピーライティング①) 10週 " ④(コピーライティング) 11週 プレゼンテーションの重要性とその内容 12週 プレゼンテーションのあり方 *制作期(全4回)「総合プロジェクト」企画再チェックと制作チェックの実施		
初回持参物	筆記用具/ MacBook		
準備学習	過去の広告デザイン制作物をできるだけ多く観ることで、自分のアイデアの引き出しを増やす努力をすること		
成績評価方法 および 注意事項	講義が中心。出席率、受講姿勢より評価します。 毎回、講義資料を配布します。自分の MacBookにダウンロードしてください。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/ 89~80点:優/ 79~70点:良/ 69~60点:可/ 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン1	授業分野	情報デザインの編集と表現																																				
担当教員	富田由利子																																						
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン ~1995年 Hiro Art Directions株式会社に勤務 CI(シンボルマーク・ロゴタイプ・システム)、広告、パッケージ等のグラフィックデザインを制作/創造性開発手帳(Mandalart)の開発、デザイン、商品化を行う 1995年~ T'S Design Works Inc.主宰 CI(シンボルマーク、ロゴタイプ・システム)、広告、 Web等のアートディレクション、グラフィックデザインを制作/公共機関のデザインアドバイザーに就任/阿佐美グラフィックデザインの演習、情報デザインの講義を行う																																						
授業内容 および 到達目標	私たちは膨大なデータや情報に囲まれて生活しています。情報とデータの違いを理解し、「学ぶ力」「考える力」を学びます。人々が理解できる情報として、的確に伝えるための情報編集と表現を学びます。毎回後半では「考える力」のトレーニングとして簡単な実習をします。																																						
授業内容詳細・進行																																							
〈前期〉	<table border="0"> <tr> <td>1週</td> <td>デザインって何？</td> <td>知っていること 知らないこと/実習</td> </tr> <tr> <td>2週</td> <td>情報って何？</td> <td>知っていること 知らないこと/実習</td> </tr> <tr> <td>3週</td> <td>情報をみる</td> <td>Seeでみる Lookでみる/実習</td> </tr> <tr> <td>4週</td> <td>情報をみる</td> <td>定量的に観察する/実習</td> </tr> <tr> <td>5週</td> <td>情報をみる</td> <td>定性的に観察する/実習</td> </tr> <tr> <td>6週</td> <td>情報の違い</td> <td>情報とデータは違う/実習</td> </tr> <tr> <td>7週</td> <td>情報の編集</td> <td>編集と編纂/実習</td> </tr> <tr> <td>8週</td> <td>情報の編集</td> <td>たくさんの編集方法/実習</td> </tr> <tr> <td>9週</td> <td>情報を表現する</td> <td>なにを/実習</td> </tr> <tr> <td>10週</td> <td>情報を表現する</td> <td>どのように/実習</td> </tr> <tr> <td>11週</td> <td>情報を表現する</td> <td>たくさんの表現方法/実習</td> </tr> <tr> <td>12週</td> <td>デザインのチカラ！</td> <td>レポート出題</td> </tr> </table>			1週	デザインって何？	知っていること 知らないこと/実習	2週	情報って何？	知っていること 知らないこと/実習	3週	情報をみる	Seeでみる Lookでみる/実習	4週	情報をみる	定量的に観察する/実習	5週	情報をみる	定性的に観察する/実習	6週	情報の違い	情報とデータは違う/実習	7週	情報の編集	編集と編纂/実習	8週	情報の編集	たくさんの編集方法/実習	9週	情報を表現する	なにを/実習	10週	情報を表現する	どのように/実習	11週	情報を表現する	たくさんの表現方法/実習	12週	デザインのチカラ！	レポート出題
1週	デザインって何？	知っていること 知らないこと/実習																																					
2週	情報って何？	知っていること 知らないこと/実習																																					
3週	情報をみる	Seeでみる Lookでみる/実習																																					
4週	情報をみる	定量的に観察する/実習																																					
5週	情報をみる	定性的に観察する/実習																																					
6週	情報の違い	情報とデータは違う/実習																																					
7週	情報の編集	編集と編纂/実習																																					
8週	情報の編集	たくさんの編集方法/実習																																					
9週	情報を表現する	なにを/実習																																					
10週	情報を表現する	どのように/実習																																					
11週	情報を表現する	たくさんの表現方法/実習																																					
12週	デザインのチカラ！	レポート出題																																					
初回持参物	筆記用具/鉛筆必携(実習使用)/消ゴム																																						
準備学習	*毎日出会う さまざまな広告、広報物(電車内広告、ポスター等)などを意識的に見て以下のコトを読み取りノートに記す 何を伝えているか？ —コピー、ビジュアル 他何が主になっているか 誰に伝えているか？ —全般ではなく、メインターゲットが想定されているか？ その表現は的確か？ —上記に対しての表現は合っているか？ *参考ブログ< http://interdesign20.blogspot.com > (https://www.visions.jp メルマガ申込からも可)																																						
成績評価方法 および 注意事項	*出席率(70%学校規定)・成績は毎回行う実習の提出(100%必須)と、レポート(必須)により評価します 注意:連続講義のため欠席、授業途中の入退室は禁止します(オンラインでも同様) 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可																																						

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン1	授業分野	キャリアデザイン1
担当教員	小坂恭子		
専門 実務経験等	専門:キャリアカウンセラー/グラフィックデザイナー 2012年 厚生労働省認定キャリア・コンサルタント能力評価試験合格 CDA キャリアインストラクター/キャリアカウンセラー 資格取得 ~2015年 東洋美術学校 キャリア支援センター勤務		
授業内容 および 到達目標	卒業後の社会に関わる自分を意識し、就職活動を行う心構えや知識を学び進路決定に繋げていきます。 将来のための情報収集、社会に対する理解、コミュニケーションスキル等を磨き、就職活動の準備をしていきます。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 オリエンテーション/働く事とは/就職活動のスケジュール/卒業生の就職状況・求人情報 2週 必要書類/自己分析について/ポートフォリオ/就職活動が上手い人、そうでない人 1 3週 「就職活動のすべて 1.2」(就職活動とは/エントリーシート/説明会) 4週 「就職活動のすべて 3.4.5」(グループディスカッション/集団面接/個人面接) 5週 就職活動をリアルに考える 1(業界研究について) 6週 就職活動をリアルに考える 2(就職先を具体的にイメージする) 7週 履歴書の書き方 8週 添え状の書き方 9週 封筒の書き方 10週 マイナビ登録会/就職サイトの紹介/リクルートスーツ 11週 ポートフォリオについて 12週 提出物(履歴書・添え状・封筒)の振返り/まとめ		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	将来、どんな仕事をしたいと考えていたのか。阿佐ヶ谷美術専門学校に入学した目的を再確認しておく。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率と提出物、及び授業態度にて評価。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン2	授業分野	視覚デザインベーシック1
担当教員	小林チエ		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン/美術家 (株)クリエイティブオフィス ヘッドエイク勤務(カタログ制作・広告制作など)を経て、 雑誌編集デザイン・ギャラリー関連の広報デザインなどを行う。 2010年よりタイポグラフィセミナー運営。京都造形芸術大学通信学部スクーリング授業担当。		
授業内容 および 到達目標	前半は印刷およびDTPの基礎知識の習得と理解、情報やイメージを伝達するグラフィックデザインの分析などを通じて視覚デザインの基礎を総合的に学ぶ。後半は地域と連携したコラボレーション課題、デザインコンペへの出品学園祭での展示などを経て、後期後半からは総合プロジェクトに対応する。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 春期課題プレゼンテーション/オリエンテーション 2週 講義「印刷・DTPの基礎知識」 3週 印刷博物館見学/活版印刷実習(校外授業) Aクラス 4週 // Bクラス 5週 筆記試験「印刷・DTPの基礎知識」 6週 試験添削/課題1&2(杉並区との連携課題を予定)出題 7週 課題1 指導・制作 ABクラス 8週 // ABクラス 9週 // ABクラス 10週 後期演習登録ガイダンス/課題1&2 プレゼンテーション 11週 課題1&2 プレゼンテーション/後期演習登録 12週 課題3 出題/オリエンテーション		
〈後期〉	1週 夏期課題プレゼンテーション/課題3 指導 2週 関連講義 又は 校外見学 3週 課題3 制作/指導 4週 // 5週 課題3 プレゼンテーション 6週 //2/フェスタ展示準備 7週 「総合プロジェクト」オリエンテーション 8週 関連講義 又は 校外見学 9週 「総合プロジェクト」制作/指導 10週 // 11週 // 12週 //		
	* 制作期(1月・4回)「総合プロジェクト」指導・制作		
初回持参物	春期課題/筆記用具/ MacBook		
準備学習	春期課題の制作		
成績評価方法 および 注意事項	出席率と学ぶ姿勢、課題の取り組み方と作品の総合評価。 視覚デザイン科2年生全体のホームルームも兼ねます。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	グラフィックデザイン1・2
担当教員	鈴木竜		
専門 実務経験等	専門:アートディレクター/グラフィックデザイナー 2001~2010年(株)原宿サン・アド勤務 広告立案/デザイン制作。 2010年~現在 59designを設立し、広告立案/デザイン制作を行う。		
授業内容 および 到達目標	<前期>基礎的なデザインの習得から高度な広告デザインの立案まで、各個人のスキルに合わせて学び、デザイナーとして社会に出ることを到達目標とします。 <後期>前期で学んだ基礎を元に、課題を通じてスキルアップを目指します。グラフィックデザインの現場で実査に発生しうる課題や、制作物の印刷までの過程などを学びます。		
授業内容詳細・進行			
<前期>	1週 課題1:出題・関連講義 2週 " : 中間指導 3週 " : 講評 4週 課題2:出題・関連講義 5週 " : 中間指導 6週 " : 講評		
<後期>	1週 課題1:出題・関連講義 2週 " : 中間指導 3週 " : 中間指導 4週 " : 講評 5週 課題2:出題・関連講義 6週 " : 中間指導 7週 " : 中間指導 8週 " : 講評 9週 課題3:出題・関連講義 10週 " : 中間指導 11週 " : 中間指導 12週 講評会		
初回持参物	筆記用具/ MacBook/ 自分の好きなデザイン(本・ポスター・グッズ等どんなモノでも OK) * 実物又は印刷して用意する。		
準備学習	世の中にある、ありとあらゆるグラフィックデザインを多く見ること。その中から自分の好きな物を見つけ、何故そのデザインが好きなのか、理由考えるようにしてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率・制作に対する姿勢・課題作品で総合的に評価します。 課題はすべて提出し、プレゼンテーションすることが必須です。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/ 89~80点:優/ 79~70点:良/ 69~60点:可/ 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1-1-2	授業分野	エディトリアルデザイン1・2
担当教員	緒方裕子		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン 1999年 田中一光デザイン室を退社後、フリーランスとして独立。緒方デザインルーム設立。 グラフィックデザイナー・ブックデザイナーとして装幀・エディトリアル・ポスター・シンボルマーク・ロゴ・展覧会グラフィックなど グラフィック全般を手がける。		
授業内容 および 到達目標	授業を通して、デザインの基本となるタイポグラフィ、用紙、色彩、写真、イラスト、印刷などデザイン全体を学ぶ。 思考したデザインを「作品」に根気強く定着させていく能力を伸ばしてほしい。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	エディトリアルデザインは、書籍、雑誌、新聞などの出版物(電子書籍も含み)、小冊子やカタログなどページモノの デザインで私たちの生活のなかで身近なデザインのひとつです。 文字、図版(写真、イラスト、図表など)、紙、印刷、製本等のデザイン要素の集合体です。 6週で本、雑誌が1冊の形になるまでの工程や成り立ちの基本を講義、実習を通して学んでいきます。 前半の4週は基礎知識の講義を中心とし、後半は課題を通し実践を学んでいきます。		
1週	講義 編集の基礎知識 編集デザインに関わる基本用語とその使われ方 ページモノの組み立て方		
2週	講義 原稿の基礎知識/レイアウトの基礎知識 出題:課題1/文字原稿関連、図版原稿との関係の仕組みを学ぶ		
3週	講義 レイアウトの中の色彩、写真、イラスト 出題:課題2/美しい本とは? ブックデザインの実例を通してブックデザインを知る。		
4週	講義 用紙の基礎知識・製本の基礎知識 書籍の構造としての成り立ち、様式と名称、用紙についての基礎知識、紙を知る		
5週	提出・発表会・講評会:課題1 ブックデザインの仕事の現場から。実際のブックデザインの仕事での流れを見ていきます。		
6週	提出・発表会・講評会:課題2 後期では、前期で学んだエディトリアルデザインの基礎知識をもとに、課題制作を中心に取り組みます。 企画をたて、編集を元に、紙の選択、造本まで総合的にデザインし、丁寧に1冊を制作していきます。 基本の製本方法を学び、実践的に計2冊を仕上げます。		
〈後期〉	1週 出題:課題1 課題目的について/自己紹介 2週 制作・企画書提出:課題1 制作指導・課題制作 3週 課題1 制作指導・課題制作 4週 // 5週 // 6週 提出:プレゼンシート、課題1作品・作品発表会・講評会/出題2 課題目的について 7週 制作・企画書提出:課題2 参考作品と参考本の研究 8週 課題2 制作指導・課題制作 9週 // 10週 上製本の制作指導 11週 制作指導・課題制作 12週 提出:プレゼンシート、課題2作品 作品発表会・講評会		
初回持参物	筆記用具/A4クリアファイル(プリントを入れます。30シート以上のもの)/自分がデザイン的に美しいと思う書籍、 雑誌を持参。(カタログや通販誌、週刊誌などは不可。切り抜きなどは行いません。)		
準備学習	大きな本屋さんを「デザイン」を観察する目的で様々なジャンルの本をデザインサーチしてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と課題評価を合計で総合評価。特に前半の4回はエディトリアルデザインの基礎知識を学ぶ内容の講義が中心なので、 遅刻、欠席をすると今後、大幅に理解出来なくなります。講評を受けられるよう制作スケジュールをたて、提出までの自己管理をすること。 成績評価(100点評価):100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	Webメディアデザイン1・2
担当教員	山内滋晴		
専門 実務経験等	専門:アートディレクター/グラフィックデザイナー 1987年4月～現在 株式会社アトム、J.Walter.Thompson(マーケティング事業部)など数社勤務。 広告、パッケージ、CG映像、WEBデザインなどの制作を担当。 現在はフリーアートディレクター。		
授業内容 および 到達目標	インターネット上でコンテンツをより魅力的に見せる WEB デザイン。 その基本となるHTML、CSS、Wordpress によるページ制作、Illustrator・Photoshop・Dreamweaverによる デザインデータ制作のほか、コンテンツ制作や新たな WEBビジネスを支えるデザイナーを育てます。		
授業内容詳細・進行			
	【テーマ】まずは既存サイトを参考にマーケティングを中心とした WEBデザインを学ぶ。		
〈前期〉	1週 WEBサイト100個探す 2週 プロモーションサイトをつくろう 3週 チェック 4週 講評 5週 チェック 6週 チェック 7週 講評 8週 企業サイトをリニューアルしよう 9週 チェック 10週 講評 11週 自己PRサイトをつくろう 12週 講評		
〈後期〉	1週 デジタルマーケティング基礎 2週 ランディングページをつくろう 3週 チェック 4週 チェック 5週 講評 6週 SNS広告をつくろう 7週 チェック 8週 講評 9週 htmlメールをつくろう 10週 チェック 11週 チェック 12週 講評		
初回持参物	筆記用具 / MacBook		
準備学習	いろんな業種のWEBサイトを沢山見ておいてください。 その中から、自分が好きだと思うデザインの WEBサイトをチェックしておいて下さい。		
成績評価方法 および 注意事項	課題に対する創作姿勢・出席率・提出物の完成度と期限 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	イラストレーション1・2
担当教員	小沢信一		
専門 実務経験等	専門:イラストレーター 書籍装幀画、新聞、週刊誌、雑誌などの挿絵を多数担当。		
授業内容 および 到達目標	<p><前期>作品制作を通して自分のスタイルを模索する。イラストレーションの役割を認識する。数をこなすことで向き不向きや、得意分野を見極める。 <後期>アイデア、表現方法、仕事のノウハウを実作業を通し学び、ビジュアル化する。各媒体に適した自分のイラストレーションを模索する。客観的に自己の作品を分析する。</p>		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 オリエンテーション／自己紹介／イラストレーションとは何か／ワークショップ「物を描く 1」 2週 ワークショップ「物を描く 2」／合評:課題「私の好きな物」 3週 ワークショップ「風景を描く 1」 4週 ワークショップ「風景を描く 2」／合評:課題「私の好きな風景」 5週 ワークショップ「人物を描く 1」 6週 ワークショップ「人物を描く 2」／合評:課題「私の好きな人」 7週 ワークショップ「イメージを描く 1」 8週 ワークショップ「イメージを描く 2」／合評:課題「私の好きなこと」 9週 ワークショップ「イメージを描く 3」 10週 ワークショップ「仕事を想定してラフスケッチを描く 1」／課題説明と合評 11週 ワークショップ「仕事を想定してラフスケッチを描く 2」／ " 12週 ワークショップ「仕事を想定してラフスケッチを描く 3」／ " /夏期休暇課題説明		
〈後期〉	1週 自己紹介／オリエンテーション／夏期休暇課題合評／課題「雑誌表紙グループ」説明 2週 ワークショップ／企画書提出／個人面談 3週 " /中間チェック 4週 " /合評 5週 オリエンテーション／課題「オリジナルグッズを制作」説明 6週 企画書提出／個人面談 7週 中間チェック 8週 合評(ゲスト講師あり) 9週 課題「井の頭自然文化園プロジェクト」説明／ラフチェック 10週 中間チェック 11週 " 12週 合評(ゲスト講師あり)		
初回持参物	自分の代表作品(データではなく出力して用意すること)／筆記用具		
準備学習	毎回出題する課題内容の下調べ、アイデア出しをしておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	課題に対する制作姿勢、完成度、制作点数、出席で評価。毎回のワークショップ(時間内に沢山描く)をこなすことで次第にスキルアップしていきますので遅刻、欠席は厳禁。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	タイポグラフィ1・2
担当教員	小林チエ		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン/美術家 (株)クリエイティブオフィス ヘッドエイク勤務(カタログ制作・広告制作など)を経て、雑誌編集デザイン・ギャラリー関連の広報デザインなどを行う。 2010年よりタイポグラフィセミナー運営。京都造形芸術大学通信学部スクーリング授業担当。		
授業内容 および 到達目標	<前期>どのデザイン分野でも文字情報をどう処理するかが重要です。この授業では組版アプリケーションInDesignを使って文字をどう組むかを学びます。文字組版に必要な文字と書体に関する知識は講義で学び、実践課題として本文組みを中心とした小冊子を作成します。 <後期>前期で学んだこと、さらに高度な組版技術・文字に関する知識を学んで80頁以上の書籍を作ります。文章をよく理解し、内容にあった組版仕様を考えて本文を組み、カバー・表紙を含めた全体をデザインし、出力・製本して1冊の本を完成させます。		
授業内容詳細・進行			
<前期>	隔週(予定)で、タイプフェイスデザイナー・研究家などをゲストとして招聘。 1週 オリエンテーション/書体と活字・日本語組版についての講義/課題出題 2週 書体についての講義/文字とデザインのワークショップ/ InDesign実習 3週 // 4週 // 5週 // 6週 // 7週 // 8週 // 9週 課題制作・指導 10週 // 11週 // 12週 講評・総括		
<後期>	1週 オリエンテーション/課題出題・編集と素材整理について/復習小テスト 2週 書体・組版についての講義/ブックデザインワークショップ/ InDesign実習 3週 // 4週 // 5週 // 6週 // 7週 校正実習 8週 書体・組版についての講義/ブックデザインワークショップ/ InDesign実習 9週 課題制作・指導 10週 // 11週 // 12週 講評・総括		
初回持参物	文字スケール/USBメモリ又はポータブル HDD 定規/ノート/筆記用具/電卓(携帯電話不可)/資料を整理するためのクリアファイル(すべて毎回持参)		
準備学習	特になし		
成績評価方法 および 注意事項	出席率、宿題と最終課題(組版成果物)によって評価。授業の中での作業が主となるので、遅刻・欠席は厳禁。 質問をどんどんすること。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	写真1・2
担当教員	土肥裕司		
専門 実務経験等	専門:フォトグラファー 阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。 集英社スタジオ勤務を経て、1990年頃より、雑誌や広告など、幅広い被写体を相手に活躍。 写真関連の書籍「もっと写真構図のルールブック」執筆なども担当する。		
授業内容 および 到達目標	<前期>様々なメディアにおいて画像データはあふれており、情報の発信者にとって「イメージを理解し、発想する力」は必須と言えます。この力を磨くために写真はとても重要です。イメージングの基礎からスタジオを使った撮影の初歩まで学びます。 <後期>前期中はイメージングのトレーニングを行いました。後期は社会の中で機能する写真を学びます。広告形式の写真撮影や校内での写真展を行い、他人に見せる写真を意識します。		
授業内容詳細・進行			
<前期>	1週 出題:課題1「スライドショー」ストーリーを写真のみで構成する／実習:「スタジオで証明写真を撮る」 2週 講義:「写真の中のメッセージとは」 3週 講義:「レンズの話」／課題中間チェック 4週 講義:「スライドショーの作り方」／課題中間チェック 5週 実習:「光の話」／課題中間チェック 6週 講評:課題1「スライドショー」 7週 出題:課題2「mini Book」小さな写真集を写真と文字で構成する 8週 実習:モデル撮影1 9週 実習:「プリントテクニック」／課題中間チェック 10週 講義:デジタルテクニック／課題中間チェック 11週 課題チェック 12週 講評:課題2「mini Book」		
<後期>	1週 出題:課題3「お茶の雑誌広告」雑誌広告の写真を撮る 2週 実習:角版写真 3週 実習:切抜写真 4週 実習:モデル撮影2／課題中間チェック 5週 実習:スタジオライティング／課題中間チェック 6週 校外授業:写真展「写真新世紀見学」 7週 講評:課題3「お茶の雑誌広告」 8週 出題:課題4「around20-二十才の肖像」ポートレート撮影 *校内で写真展を行います 9週 実習:写真表現の色々 10週 講義:写真展という表現の場／課題中間チェック 11週 課題チェック 12週 講評:課題4「around20-二十才の肖像」		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	出席と作品の提出が必須。授業の理解度と作品の内容によって評価します。 成績評価(100点評価):100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習1-2	授業分野	Webコーディング
担当教員	小高恭子		
専門 実務経験等	専門: WEBデザイナー 2006年～複数のweb会社でマークアップエンジニアとして業務に従事		
授業内容 および 到達目標	コーディングルール(コードの書き方に関する決まりごと)に沿ってホームページ構築ができるように HTMLとCSSの記述の仕方を学びます。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 HTMLとCSSについて初歩的な解説 2週 " 3週 " 4週 webサイト制作ソフト(BracketsまたはDreamweaver)を使ってみよう 5週 サーバとドメインについて学ぼう 6週 webフォント(Adobe Typekit, Google Fonts)を使ってみよう 7週 プロトタイプ作成ツール AdobeXD(総プロも意識した Adobeソフトを紹介)を学ぶ 8週 " 9週 " 10週 AdobeAnimate(総プロも意識した Adobeソフトを紹介)を学ぶ 11週 " 12週 "		
初回持参物	MacBookのストレージの空き容量を 30GB以上確保してきてください ・筆記具・スマホ・USBメモリ(16GB以上)・必要に応じてポータブル HDD。		
準備学習	授業はタイピング中心になります。 ブラインドタッチに不慣れな方は webサービスなどを利用し、あらかじめ練習をしておきましょう。		
成績評価方法 および 注意事項	出席重視(4回以上欠席は履修不可)・授業に取り組む姿勢・授業理解度 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	修了制作	授業分野	総合プロジェクト
担当教員	視覚デザインコース2年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	視覚デザインコース2年次の修了制作。設定された共通するテーマに沿って、企画・制作・プレゼンテーションを総合して行うプログラム。調査力／考える力／分析力／企画力／発想力／表現力などを学ぶ。		
授業内容詳細・進行			
	<p>テーマ／詳細は後期7週目に発表。</p> <p>◎分析とクリエイティブ 提示されたテーマを分析・調査し「何を、何の為に、誰に、どのように」情報伝達することが必要かを考え、視覚コミュニケーションの提案を行う。情報の取捨選択、「考えるちから」、企画力、発想力、表現力を学ぶ。</p> <p>◎社会に役立つ／つながるデザイン(問題解決・社会貢献)／デザインの力の模索 社会のなかにおいて「デザイン」でなにが出来るのか、これからのデザインの力とはなにか、を模索する。</p> <p>◎グループワークとコミュニケーション 選択している授業分野を横断したグループでの共同作業を通して、コミュニケーション能力の向上を目標とする。今まで個人で学習し修得した力を共同作業のなかでどのように発揮するか。複数の人間の意見をまとめてひとつの表現に結びつけることの困難さと、大切さを学ぶ。ブレインストーミング、制作の中での役割分担、チームワークを経験する。3～4名でグループを組む。</p>		
初回持参物	MacBook／筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	<p>企画・制作プロセス、作品とプレゼンテーション、合評会での取り組みなどによる総合評価</p> <p>成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可</p>		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン3	授業分野	視覚コミュニケーション2
担当教員	溝川誠司		
専門 実務経験等	専門:クリエイティブディレクター 2008年～現在 独立後、株式会社ソリッドプラス 代表取締役就任 企業等のマーケティングおよびプロモーション企画立案、会社案内、学校案内、パンフレット、ポスター等のデザイン制作・アートディレクションに従事 ・OAC 公益社団法人 日本広告制作協会 正会員/理事 ・JSSD 日本デザイン学会 正会員 ・長岡造形大学 非常勤講師、デザイン専門学校において教育課程編成委員及び教育課程評価委員を数校受託		
授業内容 および 到達目標	私達が接する情報の多くは、広告やマーケティング・コミュニケーションであることを踏まえ、プロモーションからクリエイターに不可欠なマーケティングの知識を学ぶ。 また夏休みには課題制作を課す。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 広告／企画、制作市場、広告界の動向(オリエンテーション) 2週 広告企画制作の現場レポート 3週 広告企画制作業界への就職活動の在り方 4週 ポートフォリオの重要性について 5週 広告の目的① 6週 " ② 7週 広告の表現① 8週 " ② 9週 " ③ 10週 広告効果と、その測定 11週 夏休み課題制作実習オリエンテーション 12週 夏休み課題制作実習チェック		
〈後期〉	1週 オリエンテーション／課題 2: 企画案チェック 2週 講座オリエンテーションと夏休み課題制作実習チェック 3週 夏休み課題制作実習チェック 4週 夏休み課題制作実習チェック 5週 夏休み課題制作講評 6週 マーケティングとプロモーション 7週 マーケティングの概念 8週 マーケティングの基礎(製品開発) 9週 " (価格戦略～流通システム) 10週 " (プロモーション 1) 11週 コーポレートガバナンスについて(企業統治) 12週 コンプライアンス時代の広告制作の在り方(知的財産権・景品法)		
	* 制作期(全4回)クリエイティブ全般についての総括と、コミュニケーションワークショップ等を実施予定		
初回持参物	筆記用具／ MacBook		
準備学習	外に出て、街にあふれる様々な情報の、それぞれの目的を理解する習慣を身につけること		
成績評価方法 および 注意事項	講義が中心。出席率、受講姿勢より評価します。 毎回、講義資料を配布します。自分の MacBookにダウンロードしてください。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン3	授業分野	キャリアデザイン2
担当教員	小坂恭子		
専門 実務経験等	専門:キャリアカウンセラー/グラフィックデザイナー 2012年、厚生労働省認定キャリア・コンサルタント能力評価試験合格 CDA キャリアインストラクター/キャリアカウンセラー 資格取得 ~2015年 東洋美術学校 キャリア支援センター勤務		
授業内容 および 到達目標	<前期>就職活動のスキルを身につける。2年時に学んだ就職活動の応用、具体的活動へのアプローチをしていきます。ポートフォリオの強化、自己PRと履歴書の制作や実践的な模擬面接をし、筆記試験対策も行います。 <後期>ビジネスマナーを含めながら、進路・就職活動の支援をしていきます。自己PR、文章力の強化、面接試験の強化を中心に行ってゆきます。		
授業内容詳細・進行			
<前期>	1週 卒業生の就職状況・求人情報/必要書類/添え状、封筒、履歴書の復習 2週 ポートフォリオ/就職活動のスケジュール確認/就職活動が上手くいく人、そうでない人 2 3週 求人票の読み方 1 4週 求人票の読み方 2(給与手取りシミュレーション・生活とお金の事) 5週 電話の掛け方/ビジネスメール 6週 筆記試験/面接の三大質問 7週 見やすいエントリーシート/履歴書(経歴欄)復習 8週 面接マナー1 第一印象について 9週 面接マナー2 個人、集団面接 /就活をしていく上で困ること 10週 面接マナー3 リモート面接 /就職活動をしていくにあたり 1 11週 集団模擬面接会 12週 集団模擬面接振り返り/内定・内定辞退について/自己紹介書/ポートフォリオ 2		
<後期>	1週 前期の振り返り/自己PR強化/リアリティショック 2週 個人面接・集団面接復習 3週 就職活動をしていくにあたり 2/自己紹介書について 4週 言葉の置き換え/自己肯定感について 5週 文章能力UP①理解する力「要約」 6週 文章能力UP②伝える力/聞く力 7週 ビジネスマナー①メールと電話/名刺の交換など 8週 ビジネスマナー②敬語 1 9週 ビジネスマナー③敬語 2 10週 ビジネスマナー④配慮 11週 ビジネスマナー⑤/ES・面接の復習 12週 常識トレーニング/まとめ		
<制作期>	※個別指導		
初回持参物	(前期初回)2年時のキャリアデザインで添削返却された履歴書、添え状、封筒、筆記用具。 (後期初回)筆記用具		
準備学習	(前期)希望する業種、職種の確定。受けたい会社の企業研究。 (後期)内定がでていない学生は自己分析等の再確認。履歴書、ポートフォリオの強化と希望する会社の企業研究など。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率と提出物、及び授業態度にて評価。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン4	授業分野	視覚デザインベーシック2
担当教員	鈴木真梧		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン/アーティスト 2000年、magnet designを設立。シンボルマーク・ロゴ、カタログ、ポスター、ブックデザイン、展覧会の空間デザイン等、更にデザイン書籍への執筆等、グラフィックデザインを幅広く行う。またアーティストとしても、マスとミニをテーマに社会と個人のフラクショナルな関係を考察した作品を発表。個展2007年「手のひらを太陽に」プロジェクトスペースKANDADA/東京、グループ展:2001年「Neo Tokyo」シドニー現代美術館シドニー他。1997～2008年まで、3331 Arts Chiyodaの前身となったコマンドNのメンバーとして、展覧会等の企画、運営、デザインなども手がけた。		
授業内容 および 到達目標	前期ではプレゼンテーションを再考をし必要な情報を精査・選別します。また既存のデザインの問題点を発見し、デザインで社会問題を解決をすることを目標にして、デザインの可能性と機能性を探っていきます。後期では卒展へ向けて自分を伝えるためのポートフォリオを作成し、卒制を作るだけでなくセルフプロデュースも考えます。また後期～制作期では、卒展へ向けてのミーティング等も行います。就活や卒制に専念する時期ですが自由で柔軟な発想力を大切にしていきます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 オリエンテーション／観察力とイメージ 2週 プレゼンテーション再考(ステージ1)2分間プレゼン 3週 プレゼンテーション再考(ステージ2)リサーチ・資料作成 4週 プレゼンテーション再考(ステージ2)リサーチ・資料作成 5週 プレゼンテーション再考(ステージ2)3分間プレゼン 6週 校外授業(美術館見学など)事前リサーチ提出 7週 課題1[ダサイデザイン] 8週 課題1[ダサイデザイン] 9週 課題1[ダサイデザイン]／課題2[デザインと社会]の出題と説明 10週 課題2[デザインと社会]プレゼンテーション&講評 11週 課題2[デザインと社会]プレゼンテーション&講評／課題3・4[+ P]の出題と説明 12週 課題3[+ P]企画案チェック		
〈後期〉	1週 オリエンテーション／課題3[+ P]企画案チェック 2週 課題3[+ P]進行チェック、制作指導 3週 校外授業(美術館見学など)事前リサーチ提出 4週 課題3[+ P]進行チェック、制作指導 5週 卒展ミーティングなど 6週 卒展ミーティングなど 7週 課題3[+ P]プレゼンテーション&講評(前半) 8週 課題3[+ P]プレゼンテーション&講評(後半) 9週 卒展ミーティング／課題4[+ P]チェック 10週 課題4[+ P]チェック／課題3[+ P]提出 11週 課題4[+ P]チェック 12週 課題4[+ P]チェック		
〈制作期〉	1週 課題4[+ P]提出／卒展へ向けての調整期間 2～4週 卒展へ向けての調整期間(卒展ミーティング、個人指導など) * 授業内容とスケジュールは課題の進行状況によって変更することがあります。 * スケジュールに課外授業やゲスト講師による特別講義が入る場合があります。		
初回持参物	記用具／色鉛筆／スケッチブック／MacBookなど。初回授業に関する詳細は事前にメールにて連絡予定。		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と課題提出・発表内容などにより評価します。制作指導を受けずに課題を進行し提出しても、評価の対象にならないことがありますので注意してください。遅刻・欠席の際は必ず連絡をすること。プレゼン日は特に欠席不可。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	Webメディアデザイン3・4
担当教員①	山内滋晴(前期・後期担当)		
専門 実務経験等	専門:アートディレクター/グラフィックデザイナー 1987年4月～現在 株式会社アトム、J.Walter.Thompson(マーケティング事業部)など数社勤務。 広告、パッケージ、CG映像、WEBデザインなどの制作を担当。現在はフリーアートディレクター。		
担当教員②	小高恭子(後期担当)		
専門 実務経験等	専門:WEBデザイナー 2006年～複数のweb会社でマークアップエンジニアとして業務に従事		
授業内容 および 到達目標	<前期>インターネット上でコンテンツをより魅力的に見せる WEB デザイン。 その基本となるHTML、CSS、Wordpress によるページ制作、Illustrator・Photoshop・Dreamweaverによる デザインデータ制作のほか、コンテンツ制作や新たな WEBビジネスを支えるデザイナーを育てます。 <後期>より実践的な Webディレクション&デザイン&コーディングを学ぶ。		
授業内容詳細・進行			
<前期>	【テーマ】より実践的な WEBディレクション&デザインを学ぶ。 1週 バナー広告 2週 チェック 3週 バナー広告提出/レストランサイトをつくろう 4週 チェック 5週 レストランサイト提出/迷惑メール撃退画面デザイン 6週 チェック 7週 撃退画面デザイン/グラフィック課題とのコラボ 8週 チェック 9週 チェック 10週 チェック 11週 チェック 12週 グラフィック課題コラボ提出		
<後期>	1週 webサイト制作ソフト(BracketsまたはDreamweaver)のおさらい 2週 サイトガイドラインとは何かを知ろう 3週 サイトガイドラインに従って企業サイトをコーディングしよう 4週 // 5週 // 6週 // 7週 YouTuberになろう!(iMovie基礎) 8週 自己PV & 夏の思い出 9週 チェック 10週 チェック 11週 チェック 12週 映像はYouTubelにアップして提出 *制作期あり(4回/火5・6限/卒制Webの相談※後期 Web選択の学生のみ対応)		
初回持参物	MacBookのストレージの空き容量を 30GB以上確保してきてください ・筆記具・スマホ・USBメモリ(16GB以上)・必要に応じてポータブル HDD。		
準備学習	授業はタイピング中心になります。ブラインドタッチに不慣れな方はwebサービスなどを利用し、あらかじめ練習をしておきましょう。いろんな業種の webサイトを沢山見ておいてください。その中から、自分が好きだと思うデザインのwebサイトをチェックしておいて下さい。		
成績評価方法 および 注意事項	小高先生:出席重視(4回以上欠席は履修不可)授業に取り組む姿勢・授業理解度 山内先生:課題に対する創作姿勢・出席率・提出物の完成度と期限 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1	授業分野	Webコーディング
担当教員	小高恭子		
専門 実務経験等	専門:WEBデザイナー 2006年～複数のweb会社でマークアップエンジニアとして業務に従事		
授業内容 および 到達目標	コーディングルール(コードの書き方に関する決まりごと)に沿ってホームページ構築ができるようにHTMLとCSSの記述の仕方を学びます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 webサイト制作ソフト(BracketsまたはDreamweaver)のおさらい 2週 2年後期に作成したwebデザインをBracketsまたはDreamweaverでコーディングしよう 3週 // 4週 // 5週 // 6週 // 7週 Wordpressで就活のためのポートフォリオサイトを作ろう 8週 // 9週 // 10週 // 11週 // 12週 //		
初回持参物	MacBookのストレージの空き容量を30GB以上確保してきてください ・筆記具・スマホ・USBメモリ(16GB以上)・必要に応じてポータブルHDD。		
準備学習	授業はタイピング中心になります。 ブラインドタッチに不慣れな方はwebサービスなどを利用し、あらかじめ練習をしておきましょう。		
成績評価方法 および 注意事項	出席重視(4回以上欠席は履修不可)・授業に取り組む姿勢・授業理解度 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	グラフィックデザイン3・4
担当教員	鈴木竜		
専門 実務経験等	専門:アートディレクター/グラフィックデザイナー 2001~2010年(株)原宿サン・アド勤務 広告立案 /デザイン制作。 2010年~現在 59designを設立し、広告立案/デザイン制作を行う。		
授業内容 および 到達目標	<p>〈前期〉2年次までの基礎的なグラフィックデザインから、より実践的な演習を行います。広告表現や企業ブランディングに必要な問題発見力/解決力、企画力、プレゼンテーション能力などを学び、就職を見据えたポートフォリオの作成を行います。また自身の観点から、独自のマーケットを見つけ、クライアント(発注者) →グラフィックデザイナー(受注者)の受動構造に留まらないより能動的な新たなデザイナー像を探ります。</p> <p>〈後期〉これまで学んだ発見力/解決力/企画力/表現力/プレゼンテーション力を卒業制作に展開させます。自分のテーマを掘り下げ、企画から制作、展示までを計画的におこない、社会へのプレゼンテーションとしての実りある卒業制作をめざします。</p>		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 課題1: 出題・関連講義 2週 " : 中間指導 3週 " : 中間指導 4週 " : 講評 5週 課題2: 出題・関連講義 6週 " : 中間指導 7週 " : 中間指導 8週 " : 講評 9週 課題3: 出題・関連講義 10週 " : 中間指導 11週 " : 中間指導 12週 講評会		
〈後期〉	1週 卒業制作 企画案提出・チェック 2週 卒業制作: 指導 3週 " : 指導 4週 " : 指導 5週 " : 指導 6週 " : 中間プレゼン 7週 " : 指導 8週 " : 指導 9週 " : 指導 10週 " : 指導 11週 " : 指導 12週 " : 本審査		
初回持参物	筆記用具 / MacBook		
準備学習	世の中にある、ありとあらゆるグラフィックデザインを多く見ること。その中から自分の好きな物を見つけ、何故そのデザインが好きなのか、理由考えるようにしてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率・制作に対する姿勢・課題作品で総合的に評価します。 課題はすべて提出し、プレゼンテーションすることが必須です。 成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	エディトリアルデザイン3・4
担当教員	緒方裕子		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン 1999年 田中一光デザイン室を退社後、フリーランスとして独立。緒方デザインルーム設立。 グラフィックデザイナー・ブックデザイナーとして装幀・エディトリアル・ポスター・シンボルマーク・ロゴ・展覧会グラフィックなど グラフィック全般を手がける。		
授業内容 および 到達目標	授業を通して、デザインの基本となるタイポグラフィ、用紙、色彩、写真、イラスト、印刷などデザイン全体を学ぶ。思考したデザインを「作品」に根気強く定着させていく能力を伸ばしてほしい。		
授業内容詳細・進行			
	2年次で学んだ基礎をもとに、課題に取り組みながら現場に近いかたちで、条件ある中で課題を制作しながら実技中心に学ぶ。最終課題は外注による印刷、製本で仕上げ完成度を上げます。普段からさまざまなものに興味を持ち、よりたくさんものを見て感じることを大切にして課題の制作に生かしてほしい。 前期より卒業制作を視野に入れておくこと。		
〈前期〉	1週 自己紹介 講義／課題 1:出題と課題目的について 2週 講義／課題 2:出題と課題目的について 3週 講義／課題 2:制作指導／課題 3:出題と課題目的について 4週 講義／課題 2:制作指導／課題 3:制作指導 5週 課題 2:提出・発表・講評会／課題 4:出題と課題目的について／課題 3:制作指導 6週 課題 3:制作指導／課題 4:企画指導 7週 課題 3:提出・発表・講評会／課題 4:制作企画書提出 8週 課題 4:制作指導 9週 課題 4:制作指導 10週 外注印刷、中とし製本の指導／課題 4:制作指導 11週 課題 1:提出 課題 4:仮製本提出 講評 12週 課題 4:外注印刷製本提出／課題 4:発表 講評会		
	卒業制作の指導を中心に進めます。制作途中で 2回の審査を受けます。 最終的なゴール、卒業制作展までを見据えて計画的に進行する。 展示で人に見ていただく作品となりますので、アサビで学んだこと、自分の研究テーマの集大成とし、 社会に繋がっていくような企画、制作を目指して取り組んでください。		
〈後期〉	1週 卒業制作企画書の提出。本審査から卒業制作展までの流れを説明。 2週 卒業制作の指導 3週 // 4週 // 5週 // 6週 卒業制作中間審査 7週 卒業制作の指導 8週 // 9週 // 10週 // 11週 // 12週 卒業制作本審査		
初回持参物	筆記用具／A4のクリアファイル 30シート以上のもの 2冊		
準備学習	大きな本屋さんを「デザイン」を観察する目的で様々なジャンルの本をデザインサーチしてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と課題作品にて評価。 制作スケジュールを立て自己管理を。課題未提出は不可とする。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	イラストレーション3・4
担当教員	小沢信一		
専門 実務経験等	専門:イラストレーター 書籍装幀画、新聞、週刊誌、雑誌などの挿絵を多数担当。		
授業内容 および 到達目標	自分だけのスタイルを探す。 絵を描くことの楽しさを再認識する。 イラストレーターとして仕事への対応力を身につける。 卒業制作を視野に入れ、多様なジャンルから自分に適したものを見つけ出す。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 自己紹介。イラストレーターという仕事の実際。今後の課題への取り組み方の説明 2週 課題「セルフプレゼンテーション・私の履歴書」合評 3週 課題「風景を描く」合評 4週 課題「人を描く」合評 5週 課題「私の好きな音楽を描く」合評 6週 課題「オリジナルTシャツを制作する」合評 7週 課題「私の好きな映画を描く」合評 8週 課題「ポートフォリオを制作する」合評 9週 課題「文章を読み絵を描く」合評 10週 課題「商品PR用イラストレーションを描く」合評 11週 課題「ニュースを描く」合評 12週 課題「雑誌用カットイラストレーションを描く」合評。夏期休暇課題の説明		
〈後期〉	1週 夏期休暇課題合評、卒業制作ガイダンス 2週 卒業制作指導 3週 // 4週 // 5週 // 6週 // 7週 // 8週 // 9週 // 10週 // 11週 // 12週 //		
初回持参物	自分の代表作品またはポートフォリオ／筆記道具		
準備学習	毎回出題する課題内容の下調べ、アイデア出しをしておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	課題に対する制作姿勢、作品の完成度、提出期限の厳守、出席で評価。 毎回授業のはじめにワークショップ(制作作業)があります。 <hr/> 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1	授業分野	デジタルパブリッシング3
担当教員	大西哲彦		
専門 実務経験等	専門:編集家 1971年～1976年 印刷学会出版部 勤務 印刷雑誌(日本印刷学会機関誌)編集/単行本 編集・制作 1976年～ フリーランス編集者/ライター/エディトリアルデザイナー 日本エディタースクール出版部発行 『出版編集技術』『編集必携』『校正必携』などの執筆・編集・制作・監修 『新編 出版編集技術』の分担執筆・編集・制作 各種雑誌の編集・執筆 / 編集・印刷・デザイン・DTP関連書籍の著作・執筆など		
授業内容 および 到達目標	1、日本語組版ルール(縦組/横組)の習得 2、編集・デザイン・組版ソフトとしての Adobe InDesign日本語版の活用 3、編集・校正を含めた制作進行の知識と技術の習得 1) 雑誌のやや複雑な組版・編集デザインに対応させる 2) 老舗出版社の本づくり(書籍)レベルの組版ルールを習得する		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 造本と紙/本の構成/本当文字組版/InDesign日本語版の基本 2週 組版ルール/和文と欧文 問題の多い組版とは？ 3週 横組組版と素読み校正 横組の要素とゲラへの入朱方法 4週 横組組版と素読み校正 横組の要素とゲラへの入朱方法 InDesignの特徴と問題(デフォルトでの組版ではいけないポイント) 5週 横組組版と素読み校正 横組の要素とゲラへの入朱方法 InDesignでの組版の細部(組版品質向上の条件) 6週 縦組組版と素読み(組版・校正) 組方の問題部分を読み取る 7週 縦組組版と素読み(組版・校正) 組方の問題部分を読み取る InDesignの実際(意外にむずかしい縦組 DTP) 8週 縦組組版と素読み(組版・校正) 組方の問題部分を読み取る InDesignで再現する詳細な組版ルール 9週 本づくりと編集・組版・校正 / InDesignと組版ルールの考え方(まとめ) 10週 単行本(横組/専門書)の制作/組版 1複数の見出し・本文中の各種組方 11週 専門書単行本(横組)の制作/組版 2和欧文の混植・表組・単位語 12週 専門書単行本(横組)の制作/組版 3造本設計とノンブル・柱 予備 欧文組版の基本とルール(進行に余裕のあるさい)		
初回持参物	書籍2冊(ハードカバーの本と文庫本または新書、各1冊、内容は不問だが、ジャケット・投込み・ハガキなどの揃ったものが望ましい)・筆記具・USBメモリ/ポータブルストレージなどの保存メディア		
準備学習	本づくりの各分野の知識の確認。別資料のレジメに目を通しておくこと。ならびに各種の本を編集者・デザイナーの目で読むことを心がけよう。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率・理解度・提出物の完成度を総合的に評価。提出物は演習・課題など 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	写真3・4
担当教員	土肥裕司		
専門 実務経験等	専門:フォトグラファー 阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。 集英社スタジオ勤務を経て、1990年頃より、雑誌や広告など、幅広い被写体を相手に活躍。 写真関連の書籍「もっと写真構図のルールブック」執筆なども担当する。		
授業内容 および 到達目標	<前期>2年で進めてきた、「メッセージを伝える」授業から、3年ではより「表現」していくことを重点に学ぶ。これは、作家的な作品だけではなく、広告や雑誌など商業的な写真の中でも重要。前期は広告制作の課題と表現の実験的な課題を行い、表現のためのデジタルワークの講義も行う。 <後期>いくつかのワークショップと講義を行いつつ、卒業制作に向け作品を仕上げていきます。		
授業内容詳細・進行			
<前期>	1週 授業説明、課題1説明、講義「解像度について」 2週 人物撮影ワークショップ1、講義「デジタル調整(基本)」 3週 人物撮影ワークショップ2、講義「RAW現像」、課題1進行チェック 4週 人物撮影ワークショップ3、課題1進行チェック 5週 講義4「表現メディアについて」、課題1進行チェック 6週 課題1講評、課題2説明 7週 表現手法ワークショップ1、講義「トーンカーブを使いこなす」 8週 表現手法ワークショップ2、講義「範囲指定と合成」、課題2進行チェック 9週 表現手法ワークショップ3、講義「デジタル表現」課題2進行チェック 10週 課題2進行チェック 11週 課題2進行チェック 12週 課題2講評、夏期休暇課題説明		
<後期>	1週 夏期休暇課題(卒業制作案)の発表とチェック 2週 卒業制作指導 3週 卒業制作指導 4週 卒業制作指導 5週 卒業制作指導 6週 中間審査 7週 卒業制作指導 8週 卒業制作指導 9週 卒業制作指導、講義「プリント用紙の違いと設定」 10週 卒業制作指導 11週 卒業制作指導 12週 本審査		
初回持参物	過去の写真作品(データ or プリント) / 筆記用具		
準備学習	写真展見学。好きな写真家、気になる作品などをなるべく多く見て、感じる事。		
成績評価方法 および 注意事項	制作姿勢、完成度、出席、授業態度で評価します。 毎回全員でディスカッションしながら授業を進めます。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	卒業制作	授業分野	
担当教員	視覚デザインコース 3年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	3年間の学習の成果を、社会に通用する作品へと完成させることが授業の目的です。 担当教員の指導を受けながら、より高度な企画、より完成度の高い制作にし展示へと繋げます。 卒業制作展示は学生生活の集大成であると共に、社会へ向けての初めてのプレゼンテーションです。		
授業内容詳細・進行			
	<p>後期に履修した専攻で卒制を行い、主にその専攻の担当教員が指導を行います。</p> <p>テーマの着目からはじまり、企画の提出、中間プレゼンテーション、本審査、展示審査の全行程が卒業制作となります。</p> <p>プレゼンテーション及び各審査は担当教員と VD科専任教員が審査します。</p> <p>結果として作品が完成すれば良いわけではなく、テーマに関わる研究が重要であると同時に、デザインとして社会に通用するレベルに到達する必要があります。</p> <p>また、卒業制作展の展示に関しても考慮します。</p> <p>1週: 卒業制作の指導 2週: 再審査・展示審査 3週: 卒業制作の指導 4週: 卒業制作の指導</p>		
初回持参物	それぞれの授業において必要なもの。		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	<p>担当教員と綿密なコミュニケーションをとり、十分なチェックを受けながら企画・制作・展示計画を進めなければなりません。</p> <p>十分な指導を受けずに自己判断による結果だけを提出しても卒業制作としては認められません。</p> <p>プレゼンテーションや審査の日の遅刻・欠席は、如何なる理由であっても認められません。</p> <p>成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可</p>		